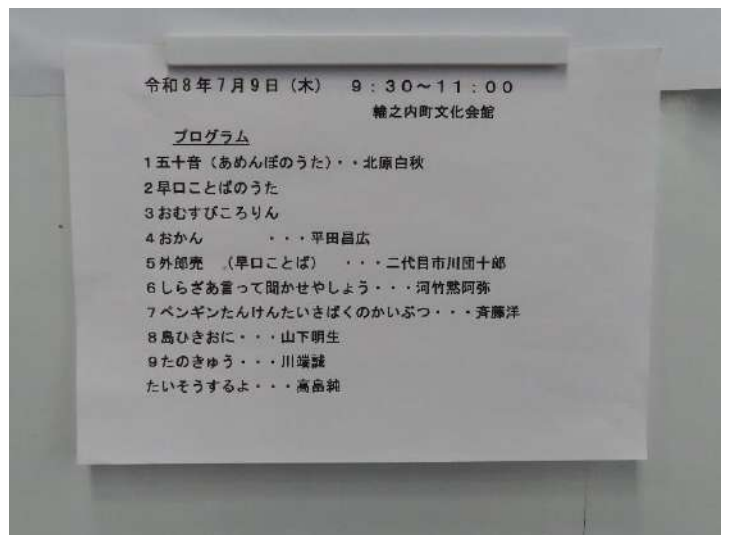
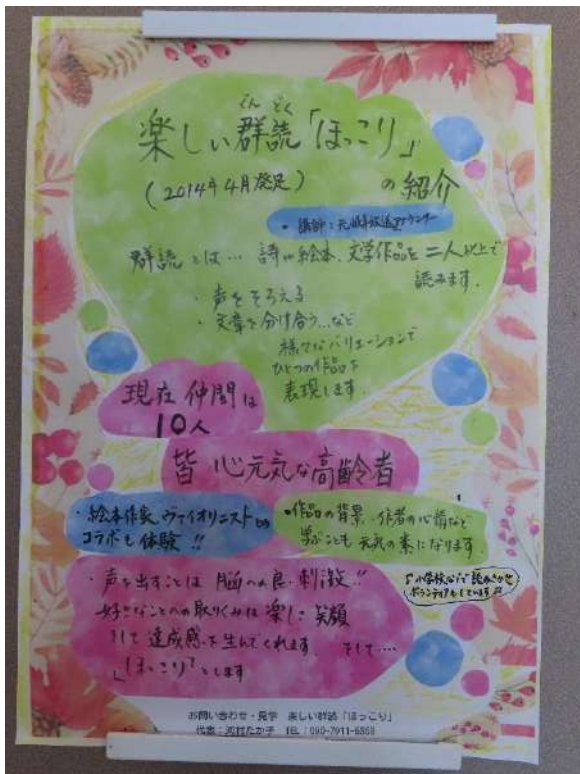


令和8年度 みつば学級 第3回講座実施報告

1. 実施日時 令和8年7月9日(木) 9:30~11:00
2. 実施場所 リトルホール
3. 参加者 28人
4. 講座内容 講話 「楽しい群読」
講師 「ほっこり」

5. 講座の様子



岐阜市で活動されている朗読グループ「ほっこり」の皆さんを講師にお迎えし、朗読講座を開催しました。

講座では、一つの作品をパートごとに分かれて読んだり、参加者全員で息を合わせて一斉に読んだり、さまざまな朗読の楽しみ方を体験しました。おなかの底からしっかり声を出すことで、会場全体が明るく活気に包まれ、自然と笑顔があらわれていました。



途中で挑戦した早口言葉では、「難しいかな」と思っていたましたが、皆さんがリズムよく、テンポよく読まれていたことがとても印象的でした。失敗しても笑い合いながら何度も挑戦し、会場は終始和やかな雰囲気でした。

また、「おむすびころりん」の朗読では、グループごとに役割を分担し、声の大きさや抑揚を工夫しながら発表しました。それぞれのグループに個性があり、同じ作品でも表現の仕方によって違った雰囲気になることを実感しました。



特に盛り上がったのは、岐阜弁で書かれた「おかん」の朗読です。有志の方が手を挙げ、母役と子役になって掛け合いを披露してくださいました。普段から何気なく使っている岐阜弁ですが、いざ台本として読んでみると、イントネーションや間の取り方が難しく、思わず言葉に詰まってしまう場面もありました。それでも、その様子がかえって会場の笑いを誘い、岐阜弁ならではの温かさや親しみやすさを改めて感じることができました。

参加者からは、「大きな声を出して気持ちがあすっきりした」「朗読は難しいと思っていたが、とても楽しかった」「みんなで声を合わせて読む一体感が心地よかった」「岐阜弁の朗読は笑いが絶えず、また挑戦してみたい」といった感想が聞かれました。

朗読は、声を出して読む楽しさだけでなく、作品の情景や登場人物の気持ちを想像しながら表現する面白さも味わえることを学びました。笑顔と笑い声が絶えない、心温まる充実した講座となりました。